

# 台風第 19 号に伴う排水樋管（堤防を横断する水路）等に関する説明会

## < 第 1 部 >

〔開催日〕 令和元年 11 月 9 日（土）

〔時 間〕 午前 10 時 00 分～午後 1 時 02 分

〔会 場〕 和泉小学校体育館

〔参加者〕 266 名

### ○説明者

- ・市長（松原俊雄）
- ・副市長（平林浩一）
- ・企画財政部長（高橋良典）
- ・総務部長（石橋啓一）
  - ・危機管理担当理事（立道雅央）
- ・福祉保健部長（浅見秀雄）
- ・環境部長（清水明）
  - ・下水道課長（一瀬隆文）
  - ・下水道管理担当主幹（岩崎俊勝）
- ・都市建設部長（小俣和俊）

### ○説明会次第

- ・開会
- ・市長挨拶
- ・説明者紹介
- ・市からの説明
  - 1 台風第 19 号の概要等について（総務部長）
  - 2 排水樋管の概要と操作状況について（環境部長）
  - 3 今後の対策について（環境部長）
- ※質疑
  - ・事前質疑応答（安心安全課長補佐・各担当部長）
  - ・一般質疑（来場者・各担当者）
- 4 被災に伴う各種減免制度等について（企画財政部長）
- ・閉会

## 事前質疑（概要）

司会

根川について、水源、全長、家庭用・工業排水等流入の有無、他の河川・用水との連結の有無、特に調布市側用水との連結はあるか。

下水道課長

根川の水源については、湧き水が湧いているなどの水源は無く、降雨時に降った雨が流れるもの。全長は、狛江市内で狛江市が管理している根川雨水幹線と上流側である調布市側の幹線の合計延長は約 2.6km。狛江市内は汚水と雨水を別に排水する分流式下水道で雨水が根川雨水幹線に流入しているが、上流の調布市では合流式下水道であるため、降雨時には合流式下水道の雨水が流入する形になっている。なお、他の河川や用水との連結はない。

司会

根川の管理責任自治体は狛江市単独か。

下水道課長

狛江市内の根川については、根川雨水幹線という下水道施設として狛江市で管理している。

司会

根川の日常の防災管理体制と根川氾濫の原因は何か。

下水道課長

日常の防災管理体制は、毎月委託により六郷排水樋管の点検を行い有事に備えている。また、市職員についても、有事に操作ができるよう訓練をしている。今回の根川の氾濫原因については、多摩川の水位が上昇したことに伴い根川に排水不良が発生し雨水が溢れたことや、多摩川の水が逆流したことが考えられるが、今回の事象について、原因の究明を行い、その対策について検討を進める予定。

司会

災害当日の根川における防災活動の実施経緯を説明してほしい。

下水道課長

災害当日 12 日の 12 時に職員が六郷排水樋管に常駐を始めた。この時は、市内に雨が降っており、根川から多摩川への水の流れが確認できたため、樋管については開門のままとしている。15 時 10 分に消防団に待機を依頼し、16 時から六郷排水樋管に常設のポンプ及び消防団のポンプ車にて排水作業を開始した。これは、常設のポンプについては準備に時間を要するため事前に排水確認を行い、いつでも樋管を閉められる準備を行っていた。その後、18 時に六郷さくら通りの冠水範囲が広がってきたことや消防団のポンプ車が増えたことにより、一旦、樋管を閉め排水作業を行ったが、冠水範囲がさらに広がったため、再度樋管を開け排水作業を続けた。その後、石原観測所の水位が計画高水位を超える 6.0m となったため、安全を考慮し職員は退避したが、その時点では、市内に雨が降っていたこと、根川から多摩川への流れが確認できたことから、樋管は開けたままの状態とした。その後、23 時に市内の雨が小康状態となったため、樋管を閉め常設ポンプにて排水を開始し、翌 13 日の 2

時 50 分に六郷さくら通りの冠水が解消した。

司会

将来に向けての根川の抜本的な防災工事を検討しているか。

下水道課長

抜本的な防災工事については、多摩川の水位を下げるのが解決策であると考えているが、狛江市として、今回起きた事象について、原因を究明し、その対策について検討を進めると共に、今回の台風では、多くの自治体で狛江市と同じような浸水被害があったことから、多摩川を管理している国土交通省に対しても、多摩川流域の各自治体を取りまとめ、今後の対策等について検討することを狛江市として要望していきたいと考えている。

司会

避難勧告の対象地区に中和泉地区がなかったのはなぜか。

危機管理担当理事

避難勧告の対象地区は、多摩川沿いの想定浸水深が 3 m 以上となる範囲が広い地区を中心に選定した。結果として中和泉地区を対象としなかったことについては、申し訳なく思っている。今後避難勧告等を発令する際は、今回の浸水被害を踏まえて検討する。

司会

敷地内の排水 U 字溝の泥土（でいど）を市で排出してもらえないか。

危機管理担当理事

泥土の処理は、土地等を管理されている方をお願いしている。

司会

床上・床下浸水に対して消毒を実施してもらえないか。

福祉保健部長

感染症予防のため床下については、まず土砂等を取り除き、水洗いしたのち十分乾燥をお願いしているが、厚生労働省では消毒は原則不要としていることをご理解いただきたいと考えている。

また、床上の消毒については、汚れのない状態でないと、効果を発揮することができないため、清掃と乾燥が最も重要である。乾燥後に、床上の消毒をお願いしているが、実際に使用する薬剤は、市販の塩素系漂白剤、消毒用アルコールや逆性せっけんなどがある。

全国的にはここ数年大規模な災害が発生しており、感染症の発症情報を収集している厚生労働省の感染症対策に基づく案内である。

## 一般質疑（概要）

### 参加者

- ・多摩川住宅は被害がなかったと言われているが事務所の張替え工事 2 箇所・洗浄 4 箇所が団地の管理費から持ち出される
- ・原因は多摩川の水が逆流して団地に入ってきた
- ・根川の汚泥が約 20cm 堆積した
- ・真ん中の道路はバス停まで、住人で泥をかいた
- ・溢れたのは市内に降った雨水ではなく、泥を含んだ多摩川の水だ
- ・樋管を閉めないというのはマニュアルにあるのか
- ・19:30 に閉めずに退避したが、その後雨が強まったので雨の状況を見ておくべきだった
- ・事務所の被害 600 万円は樋管を閉めなかったからである
- ・すぐに（事務所が）使用できるように業者に工事を依頼して対応済み
- ・樋管を閉めずに退避したのは正しくない
- ・樋管の開閉は河川の水位（多摩川・根川）と雨量を見比べるべき
- ・多摩川住宅の自治会は樋管を閉めなかったせいだと考えているが、閉めなかったのは良いのか悪いのか

### 下水道課長

- ・樋管を開けたままにしたのは事実
- ・水位 3.0m が判断基準であり、現場の職員が判断し、それを承認する
- ・根川から多摩川への流出があったため開けたまま退避した
- ・その後どうなったかは原因究明していく

### 参加者

- ・63 世帯が全て水没し、被害は 5 億円を超える
- ・19:30 に水門を開けて撤収、排水ポンプは止めていた
- ・（説明では）六郷水門を閉めたらプール 380 杯分の冠水が起これと言っていたが、それだと計算上 30~40cm になるが染地エリアは胸丈まで水が来た
- ・原因調査をするまでもなく、汚泥から判断しても（多摩川の水であることは）明らか
- ・川からバス停 2 つ分離れているエリアで鮎が打ち上げられていた
- ・下水道課長は初めに雨水が溢れ、その後多摩川の水が溢れたと言っているが、調布市はその逆だと認めている
- ・今後、同様の台風が来たときに市は同じ行動を取るのか
- ・調査、分析を行う間だけでも止める（閉める？）という判断を市長ができないか

### 市長

- ・樋管の状況は自治体によって全て違う
- ・今回の台風で多摩川の流れも変わってしまった
- ・このままでは来年大きな台風が来たときに危ない可能性があり、マニュアルどおりにはいかないと考えられる
- ・今回は根川から多摩川への流れは確認でき、樋管を閉めることはできないと判断した

- ・これからは原因を究明し、最善の対応が取れるようにしていきたい
- ・今後、完全に閉めるかはしっかり究明してから判断する
- ・根川は調布 95%・狛江 5%の流入であり、合流管がオーバーフロー。他地域の合流管からの流入もある

**参加者**

- ・調布とはその内容を確認済みである

**市長**

- ・調布にはこちらの状況が伝わっていなかった
- ・これから調布と合同で究明し、対策していく

**参加者**

- ・今後同様の際に、市は水門を閉めないと判断したと考える
- ・根川の水門の維持管理費は 95%調布市が持っていて、現在、各部門の人と合同のタスクフォースを立てようとしているので狛江も同様にしてほしい
- ・(説明会の) 事前に狛江と調布で連絡体制を作してほしいと要望したが、これはできていると聞いた
- ・現在、目視で確認しているので、センサーなどで管理してほしい。調布市は 12 月議会で補正予算をかける
- ・2 市で情報連携してほしい
- ・貯水池について、費用は都や国にかけあってほしい。敷地は多摩川住宅の建て替えをしているので使えるのではないかと。10m深度のプール 38 杯分のもを造ればよいのでは

**市長**

- ・早急に対応すべきことは市が行うものと考えており、すでに予算化に向けて動いている
- ・都知事にはすでに面会し要望しており、貯留施設は有効だったと言っていた
- ・野川が一定量増水後に水位が下降したのは上流に貯留施設があったためと考えている
- ・今後、国（国土交通省）に対しても要望していく

**参加者**

- ・調布の説明会では貯水池の説明があり、市長も検討すると言っていた
- ・今回の根川の氾濫の原因はどこにあったか
- ・今後同様のことが起こらないか
- ・国交省は多摩川自体の容量を UP させると言っている
- ・これは流域全体の問題である
- ・(多摩住内の貯水池について) 計画も済んでいるもので簡単に変更することは難しいことを認識していただきたい

**参加者**

- ①ppt. 17 18：20～19：30 は何もかかれていないがポンプは稼動していたのか排水していたのなら冠水はなかったのではないかと
- ②ppt. 27 市内の排水不良はポンプが強制排水していれば起こらなかったのでは

③ppt. 13 流域面積は全体で見ないと分からない

調布で何 mm 降ればポンプはどれくらい必要なのか、連携していないと分からないのではないかな

④ppt. 1 被害状況について、六郷排水樋管によるものは何世帯なのか。中和泉は。詳細は

下水道課長

①ポンプは 16 : 00 から準備のため稼働 (～19 : 30)

ポンプは常設 2 台、消防団 1 台 (後刻 1 台追加)

②現状のポンプでは市内に降雨がある場合に排水できる能力を有していない

参加者

・ 門を閉めて排水すればよかったのになぜしなかったのか

下水道課長

・ 閉めるとポンプだけでは排水しきれないので開けておいた

参加者

・ ポンプを止めないでおけばよかったのではないかな

下水道課長

・ ポンプはマンホールを開けて設置するもので、開けたまま撤退すると転落の可能性があり危険であった

都市建設部長

③床上浸水・床下浸水の件数報告 (棟単位) →猪方・駒井地域 (猪方排水樋管)

中和泉・西和泉 (六郷排水樋管)

参加者

・ ppt. 17 ①12 : 00～16 : 00 は何をしていたのか

②18 : 00 樋管を閉めたのはなぜか、逆流していたのか

③19 : 30 開門のまま。降雨は見込んだが多摩川増水は見込まなかったか

④23 : 00 それより前に小雨になっていたのではないかな

下水道課長

①現場に常駐し確認していた

②閉めることで根川さくら通りの冠水が広がらないか試みたが、冠水はそのまま広がったので開いた。逆流はしていなかった

③根川から多摩川へ流出しており、市内の降雨が見込まれたため開けたままにした

④雨量からすると ppt. 22 より、22 : 00 時点では雨が目視できたので 1.0mm (雨が小康状態) になるまで待った

環境部長

・ 鮎は本流の流れが激しい場合、支流に逃げる習性もある

②流れがどちらにあるのか、順流・逆流を確認するために一旦閉めた

・ ppt. 17 に記録として残している

#### 参加者

- ・現場での対応判断は非常に難しいのは理解している
- ・原因究明を待っているが、事業を続けていく上では今回の説明では納得できない
- ・11/1号広報こまえに今回の台風に関する説明が少ない

<提案>

- ①HPに情報を載せてほしい
- ②根川のライブカメラ映像をHPに載せる
- ③災害専門アドバイザーを置いて市民が相談できるようにしていただきたい

#### 市長

- ①広報・HPに順次出していく
- ②樋管水門のカメラを検討しており、見える化で即対応できるようにする
- ③原因究明に専門家を入れる

#### 参加者

- ・最大の問題は現場で目視で判断したこと
- ・水位 6m超で撤退するのは当然だが、3mを超えたところで水門は閉めなければいけなかった
- ・多摩川の流量・流速はものすごく、想定以上
- ・降雨のために水門を閉めなかったのはありえないことで、反省してほしい
- ・市内の〇〇橋（一の橋等）とつく地名は40年前まで河川だったところを下水化している
- ・調整池は5～10年かかるもの
- ・根川を地下化することを考えるべき
- ・現在のポンプは非常に貧弱であるため、大きいポンプをつけて多摩川へバイパスをつなげば3～5年で完成する
- ・今後狛江市の裁量でできる減災を

#### 参加者

- ①計画水位を超え、安全のために退避したが、命を守りながら踏ん張ってほしかった  
多摩川土手には1m程度余裕があったはず（滞留ゴミから判断）
- ・調布は避難したのか、土嚢を積みよかったのか、トイレの逆流はあったのか  
（参加者 逆流あった）
- ②今回のような台風に連続して大雨があった場合の対策も必要  
府中の堤防や京王閣付近の多摩川堤防も危険

#### 環境部長

- ①ppt. 23※2に掲載している計画高水位以下の水位を安全に流すよう堤防は設計されている。6mを超えた時点で、市民を守ることに加え職員を守ることも必要
- ②ppt. 26 多摩川の水位を考慮しなかったか、というのが20:00、21:00の雨量があつて、今後の水位上昇も懸念された。職員の退避基準の見直しを含め対策を検討していきたい

**参加者**

- ・福祉保健部に消毒してほしいといったが不要ないといわれた
- ・根川地区は調布からの汚水が流れたが対象にならないのか

**福祉保健部長**

- ・床上浸水の場合消毒は必要、過去の同様の感染症発生について調査した

**参加者**

- ・六郷樋管は 1981 年竣工で、平成 19 年にも大きな台風があったがその間なにか手を入れたのか
- ・今後の窓口はどこになるのか

**下水道課長**

- ・窓口については詰めていく
- ・樋管については下水道課が担当

**参加者**

- ・調布は暗渠にしているが、狛江はドブが見えたまま。暗渠にしないのか
- ・床下収納に鮎が 2 匹泳いでいたので、明らかに多摩川の水が入ってきた

**下水道課長**

- ・根川は暗渠にする計画はない
- ・フタをすることで浸水に対応できるのであれば今後検討していく

**参加者**

- ・(総務部長に対して) 説明会をおととい知ったが、自宅にチラシは入っておらず、開催を知り合いに聞いた
- ・調布は一戸一戸回ったと聞いている
- ・被害者にも説明会を知らない人がいるのではないか、怠慢ではないか

**総務部長**

- ・被災エリアの住宅にはお知らせした
- ・さくら通り沿いには配付しているが、漏れていたかもしれない

**参加者**

- ・消毒について
- ・職員は多摩川住宅の状況を把握していなかったのではないか
- ・狛江は水脈が多いから職員が回って把握すべき

**福祉保健部長**

- ・感染症予防のため厚生労働省に問い合わせた (2011. 3. 11 を例に)
- ・塩素系洗剤や消毒用アルコールで拭くのが有効
- ・狛江市としては消毒を実施する予定はない



**参加者**

- ・根川地区センターは除菌していたがどういうことか
- ・個人には実施せず、公共施設のみということなのか

**参加者**

- ・専門用語はよく分からない
- ・今回の資料で初めて知る内容があり、1回の説明会では納得できない
- ・今後行うことをどこまで報告するかを言ってもらわないと帰れない

**市長**

- ・皆様から良いご提案をいただいている
- ・今後も一緒にまちづくりをしていきたい
- ・今後の予定も公表し、貴重な提案も受けていく

**参加者**

- ・六郷用水が溢れそうで市に3回も電話したが、多摩川ばかり見ていて根川は全然見ていなかった
- ・緑野小にいったがしばらくするまで毛布をもらえなかった
- ・スマホはよく分からず、情報はテレビ、子供との電話のみ
- ・小学校のラジオは職員が使い方が分からず聞けなかった
- ・昔はホースで放水していた

**参加者**

- ・六郷用水が脆弱で課題があることは分かった
- ・17:00 石原水位 6mとあるが、六郷水門では何mだったのか報告がない
- ・19:30 逆流なしで退避というが、多摩川の水位が 6mなら水門ははるかに北なので逆流がなかったというのは理解できない
- ・現場に判断ミスがあったのではないか
- ・第三者を含めて今回の原因を明らかにしないと対策にならない

**下水道課長**

- ・逆流はないと判断したことについて説明

**参加者**

- ・職員がソシアを見に来たのは2週間後
- ・避難勧告も中和泉はすぐに消えた
- ・今日までもっと説明の用意はできたはず
- ・窓口を設けて

**市長**

- ・窓口・手続などを含め対応する、総合的な窓口を作り周知していく
- ・ブースを設置する

#### 参加者

- ・消毒の対応は。
- ・市に要望しても土嚢をくれただけ。土嚢を動かすのに有料・無料のボランティアを使った
- ・根川の水は調布から流れてきており、汚水なので消毒は必要
- ・調布は汚水も含んで流れたと発表している
- ・台風から一ヶ月経っているのに、いつまでに対応するのか

#### 下水道管理担当主幹

- ・調布市の合流式下水道の雨水分が流れている
- ・今根川に流れているのは雨水管の亀裂からの地下水などの浸入水

#### 市長

- ・専門の部門ごとに対応している
- ・HP、広報等で窓口を明確にする

#### 参加者

- ・冠水してすぐに感染症について安心安全課に電話し、健康推進課から床下はやらないと留守電が入っていた
- ・厚生労働省の見解ではなくデータで消毒の不要を示してほしい

#### 参加者

- ・地質（土壌？）の検査をしてほしいといっているのにたらい回しにされている

#### 参加者

- ・狛江に避難勧告が出たのは世田谷や川崎に比べてかなり遅かった
- ・（緑野小・上和泉センターは）普通の人なら避難できるが、介護者には行きにくかった
- ・早くいけるように、車で行けるようにしてほしい
- ・01：00 手漕ぎボート 西和泉バス停付近で見た
- ・01：15 モーターボートが来て、その後すぐに水位が下がった
- ・人の移動も大切だが、足となる車やバイクも大切
- ・移動しておけるように校庭を開放すべき
- ・車被害に対し市からの補助はできないか、災害見舞金の手続方法を知りたい

#### 危機管理担当理事

- ・避難勧告が遅れたのは申し訳ない
- ・狛江は道が狭く、流される被害があるので原則車での避難は遠慮してもらっている
- ・高齢者等は配慮が必要なので早めの避難が必要
- ・災害見舞金は安心安全課が窓口であり、写真等があれば罹災証明書がなくても申請できる

**参加者**

- ・ボートが見回っていたが、市は多摩川住宅がひどい状況なのを知らない

**市長**

- ・ボートは災害対策本部を6回開催したあと、市長が現場を確認しに行ったもの
- ・消防団のボートが市を回って確認していた
- ・避難所については問題、課題があるのでマニュアルを変えていく
- ・避難勧告については自主避難所を9:00から開設していた
- ・午後、早い時間に援助が必要な方には連絡していた
- ・その時間が適正だったかの判断は個々のものになるが、良かったと考える

**参加者**

- ・都市計画の中央公園に早い段階で車を動かしたので助かったものがある
- ・モノの避難も必要だと思うが、足も必要である
- ・このままでは多摩川住宅全体が“調整池”になってしまうので、そうならないように手段を考えてもらわないと住む人がいなくなってしまう

**参加者**

- ・避難所はかなり混乱していた
- ・六小が満員で他の場所へ移った
- ・ハザードマップを見ると六小は浸水区域になっている
- ・水害に対して日頃から市として考えられていたのか
- ・12/1の総合防災訓練は直下地震についてだが、水害に対しては市民の訓練がない
- ・狛江にとって一番大きな心配は水害なので、日頃から訓練が必要

**参加者**

- ・ppt4 車両避難所（一中）は車を避難させるために開設したのか

**危機管理担当理事**

- ・一中は車両用ではなかったが、車で避難してくる人が多かったので結果としてそうなった

**参加者**

- ・ハザードマップを見ると中和泉4丁目は完全に水没
- ・早い段階でそういう（車両避難所の）情報が出ていたら車だけでも間に合った
- ・中和泉4丁目はもっと配慮が必要だ

**危機管理担当理事**

- ・基本的にはハザードマップで3m以上の地域が大部分をしめているところに対して避難勧告の情報を流していた

**参加者**

- ・市に電話したら川は定点カメラで見ていると言われたが、道路の冠水を見ていない
- ・今までの台風のときはもっと事前に広報車などが来ている
- ・4:00前に避難勧告を出すと言っていた
- ・府中在住の弟には情報が来ていた

- ・中和泉には広報車も来ない
- ・車だけでも早く助けたかった

#### 参加者

- ・ポンプを止めたのが原因と認識してほしい
- ・今後は必ずポンプを回すこと、樋門は状況次第になるだろう

#### 参加者

- ・ハザードマップはかなり古いもの
- ・さくら通りの電柱に貼ってある「多摩川氾濫時の水位」は他の川については書いていないのは認識していないのではないか
- ・下水で処理できる水量だと考えているのか

#### 参加者

- ・雨水排水を受け持っている調布に出向いて説明を受けた
- ・簡易処理した汚水が六郷排水に流れていると説明されたが、その汚泥をかぶっていても消毒しないのか
- ・なぜ暗渠にしないのか

#### 福祉保健部長

- ・雨水のほか汚水が混じっているというところは早急に検討して、窓口の一本化に合わせて返答する

#### 参加者

- ・調布の下水道課から聞いたが、雨水が下水に流れ込むと汚水は1/100程度に薄まる
- ・今回道路が冠水するほどの雨は、汚水は下水管に閉じ込められた状態で上に雨水・多摩川からの逆流水が溜まる
- ・地表に溢れた水は雨水や多摩川の水だろうとのこと
- ・(調布から大田区まで続く下水管で) 大田区の共同排水溝から溢れてしまうものに関しては、かなり希釈されたものが一部根川に排水されると聞いている

#### 下水道課長

- ・その内容でだいたい合っている
- ・大田区に行く下水で流れない分が根川に入ってくるということは、市では確認していないので違うのではないか
- ・暗渠については、原因究明のなかで必要があれば検討する

#### 参加者

- ・根川上流、布田6丁目から生活排水が流れているのは認識しているのか
- ・ハケ下幹線について触れられていないので、隠さずに話してほしい
- ・市に行くと、若い子が一生懸命対応してくれるが、上の人になると返事が変わってしまう
- ・下水道課長は上流のほうを分かっているはずなのに、ちゃんといわなければ隠蔽と感じる

**参加者**

- ・災害見舞金は車にも出るのか
- ・マンションの共用部分はどうか
- ・今後制度の見直しはあるのか

**危機管理担当理事**

- ・家のみ、もっぱら住居として使っているところのみ
- ・見直しの可能性はゼロではない

**参加者**

- ・天災か人災かで判断が変わる
- ・いつまでに公式の見解を出すのか示してほしい
- ・特例（措置）の考えは持っていないのか

**危機管理担当理事**

- ・災害見舞金での特例措置は考えていない
- ・今後、国や都から支援制度が出てくる

**参加者**

- ・水害に遭った人には「残念でしたね」という考えなのか
- ・今後ではなく、今をどうにかしてほしい
- ・今回困っている人のことをどう思っているのか